

栗見出在家町 魚のゆりかご水田協議会

滋賀県

平成29年度

地産地消等優良活動表彰

農林水産大臣賞

交流促進部門

「魚のゆりかご水田」による交流促進

栗見出在家町は、滋賀県が琵琶湖の環境保全のために進めている「魚のゆりかご水田」の取組を、かつての豊かな田園風景を取り戻すために、平成18年から本格的に実施している。同取組の最大規模の面積を誇る同町は、魚道の設置だけでなく、地域の子ども会や小学校児童に、魚道づくりや青空食事会への参加を通じた食農教育や環境教育を実践しています。収穫された山田錦から日本酒の開発や、地域伝承食文化である鮎寿司漬けの実施研修を実施しています。企業・大学・近隣の家族等への米作りオーナー制度の提供、大都市圏の中学生による農家民泊と農作業体験など、県外への発信と交流を地域一体となって進めています。



魚のゆりかご水田の恵み「鮎寿司漬け」づくり



水路に設置された魚道



地域の子供たちへの郷土食伝承

株式会社ジェイエイ あぐりすかがわ岩瀬

福島県

平成29年度
地産地消等優良活動表彰

農林水産省
食料産業局長賞

交流促進部門

大勢の人たちの笑顔が飛び交う地域に愛される場所 「みんなのはたけんぼ」

須賀川市は東日本大震災や原発事故からの復興に取り組む地域です。直売所「はたけんぼ」を核とした農産物加工に加えて、小学生に読み札を募集して「食農いろはカルタ」を作成し、市内各小学校・幼稚園・県内JAなどへ寄付したり、酒米の田植え・草取り・稲刈り・酒仕込みなど一連の作業を体験しながら農業と酒作りについて学ぶ食育に取り組んでいます。須賀川駅発着で「地産地消お座敷列車」を貸切運行し、消費者・生産者・飲食店を含む地元企業・はたけんぼスタッフとの交流を通じ、地産地消への理解を深める取組を実施しています。看護協会ボランティアや病院と連携した健康相談イベントを実施するなど、農業生産者や地域住民の健康を考えた活動を行っています。



農業と酒造りを学ぶ食育「酒米田植え」



「知恵袋の会」によるちまき作り講習会



病院と連携した「看護の日」健康相談イベント

群馬県立藤岡北高等学校 バイオビジネスコース

群馬県

平成29年度

地産地消等優良活動表彰

農林水産省
食料産業局長賞

交流促進部門

高校生による地産地消の推進

授業や実習で学んだ知識と技術を生かして、「野菜の幅広い活用」をテーマに地域に根付いた教育活動の実践を目指しています。幼少期からの食農教育が地元の農産物や食文化に関心を持つ機会となり、「地産地消」運動に繋がると考え、幼稚園や保育園との、植え付けから収穫までの栽培交流や、小中学校の学校給食に高校生の作った農作物を取り入れる給食交流により、共に成長しつつ、地元作物への関心も生み出しています。また、高校生が地域資源を探り、行政や企業、異校種間との連携を図り、東京でのPRや飲食店での商品開発提案を行うなど交流を通して、実践的なマーケティングと地域振興に貢献できる活動を行っています。



幼稚園や保育園での「栽培交流」



中学校での「給食交流」



東京「ぐんまちゃん家」での販売会

有限会社河内屋商店

福島県

平成29年度

地産地消等優良活動表彰

農林水産省
食料産業局長賞

消費拡大部門

奥会津の山間地域に元気なまちを作る農家との共創事業

河内屋商店は、「先ず農家の方々を元気にしよう」また「高齢者であっても元気なうちは働けるようにしよう」と地域に必要なと思われる事業を展開しています。奥会津地域の農業生産者から多様な農産物を市場価格より高く仕入れることによる耕作面積の拡大、生産者を味噌製造工場、漬物工場等における臨時雇用による生産者の所得の向上に寄与しており、食ビジネスを通じた中山間農業地域の支援活動を行っています。民間型アンテナショップを会津若松市に開き、農産加工品や民芸品、伝統料理を提供し、山村と都市の交流を実践しています。



奥会津産素材のロールキャベツ



地元産大豆を使用した味噌仕込み



高齢者の雇用創出にも貢献

北海道

日本醤油工業株式会社

平成29年度

地産地消等優良活動表彰

全国地産地消
推進協議会会長賞

消費拡大部門

地場産農林水産物の6次産業化による消費拡大の推進

平成21年から地域との共生を目的に、「しょうゆづくり70年」の技術を活かし、生産者等に地域の農水産物を活用した6次産業化を提案し、醤油加工品、ドレッシング、ジャム、その他調味料等の製造・販売を行っています。

同社の商品は、小規模だからこそ出来る生産量、小規模だからこそ地域と密接な情報交換ができることから、未利用資源の活用や、個人の農漁業者等への商品開発にも協力するなど、小ロットの製造・加工も請け負っています。「地域食材を活用した調味料づくり」は極めて多岐にわたり、道内43市町村202品に及ぶなど、地域の農水産業の振興にも貢献しています。



比布町の養鶏農家と連携した醤油



43市町村202品も及ぶ「ご当地調味料」



地域食材を活用し、小ロット加工に対応